

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 13. 筋骨格・結合組織の疾患

### 文献

前島貞裕, 片山容一. 脊椎・脊髄疾患 1. 頸部脊椎管狭小化病変に対する術後の漢方療法. *漢方と最新治療* 2004; 13: 232-6. 医中誌 Web ID: 2004301321

#### 1. 目的

腰部脊柱管狭窄症に伴う慢性腰痛に対する牛車腎気丸、修治附子末の有効性の評価

#### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

#### 3. セッティング

1 大学病院

#### 4. 参加者

手術適応のない腰部脊柱管狭窄症に伴う慢性腰痛の患者 89 名

#### 5. 介入

Arm 1: 西洋薬群: NSAIDs、プロスタグランディン E<sub>2</sub> 製剤、ビタミン B<sub>12</sub> 製剤、H<sub>2</sub> ブロッカーを投与。29 名

Arm 2: 牛車腎気丸単独投与群。30 名

Arm 3: 牛車腎気丸+修治附子末 2.0g 投与群。30 名

各群とも 3 ヶ月間投与した。その他の詳細については原著に記載なし。

#### 6. 主なアウトカム評価項目

腰痛と下肢の Paresthesia: VAS (Visual analogue scale)

#### 7. 主な結果

腰痛は各群で 6.7、6.5、6.8 からそれぞれ 3.5、4.5、3.2 へ減少した。下肢の Paresthesia は各群で 5.6、5.7、5.9 からそれぞれ 4.2、3.9、3.2 へ減少した。各群間で治療効果に有意差はなかった。

#### 8. 結論

腰部脊柱管狭窄症に伴う慢性腰痛、下肢の Paresthesia に対して牛車腎気丸、修治附子末は有効である。その効果は一般の西洋薬の治療効果と同等である。

#### 9. 漢方的考察

なし

#### 10. 論文中の安全性評価

両群共に副作用は認めず脱落例も認めなかった。(結果省略につき件数不明)。

#### 11. Abstractor のコメント

腰部脊柱管狭窄症に対して漢方薬が治療法の一つであることを示した論文であり、治療の選択の幅が拡大することから臨床的意義が高いと考えられる。

#### 12. Abstractor and date

小暮敏明 2007.6.15, 2008.4.1